

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-2	2-1-3		事業名	市民との協働による都市計画制度の普及		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
「まち本」等活用講座受講者数	127人	500人	896人	500人	500人	500人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 都市計画の制度や仕組みなどについて、広く情報共有を図っていくことにより、市民のまちづくりへの関心、参加意識を高めていくことが期待できる。							
評価(成果)				課題			
「ミニまち」は、活用講座や「Rタワー展望室からの街並み案内等の希望が多く寄せられ、多数の小学生(3年生から6年生)に対し都市づくりについて学び、考える機会を提供した。 また、市民全体の活用講座参加延べ数は896人であり、22年度末の目標として設定した500人を上回る実績をあげていることから、より多くの市民に対し都市づくりに関する仕組みやルールを知る機会を提供したといえる。 なお、講座等実施後のアンケート調査においては、概ね高い評価を得ている。				・「まち本」の活用による都市計画制度を中心とした都市づくりに関する仕組み・ルールの普及や、「ミニまち」の活用による次世代育成事業の継続実施と併せて、街づくり参加をより促進するための情報の内容・提供方法について検討を行う必要がある。 ・地域の活動の担い手となる人材の発掘、育成などまちなみづくりへの市民参加のきっかけとなるような取組を図っていく必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
「まち本」の活用による都市計画制度を中心とした都市づくりに関する仕組み・ルールの普及や、「ミニまち」の活用による次世代育成事業を引き続き実施するとともに、地域における先進的な取組事例の紹介や、地域の活動の担い手となる人材の発掘、育成などまちなみづくりへの市民参加のきっかけづくりを進めていく取組を、市民意見を適時取り入れながら効果的に行っていく。 21年度以降の事業予定 「まち本」の活用などによる都市計画制度等の普及 「まち本」改訂版発行、市民配布 カルチャーナイト市役所見学ツアーにおける市役所屋上からの街並み案内実施 「ミニまち」を活用した次世代の育成 「ミニまち」市民配布 「ミニまち」を活用した市内小学校向け講座等の実施 「ミニまち」クイズ受付 市民参加のきっかけづくりに向けた取組 地域における先進的なまちなみづくりの取組事例紹介 地域における勉強会、ワークショップ手法検討、実施							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-2	2-1-3	事業名	市民との協働による都市計画制度の普及		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000		
予算	事業費	3,000	3,000	3,000	-	9,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	3,000	3,000	3,000		9,000		
実績	事業費	2,748	1,605	-	-	4,353	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	2,748	1,605			4,353		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				61.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
「まち本」・「ミニまち」増刷未実施のため							
[21年度]							